

AbleNet®

iOS14 & iPadOS14 アクセシビリティ スイッチコントロール - ユーザーガイド



はじめに

本ユーザーガイドは、iOS14&iPadOS14 のアクセシビリティ機能、「スイッチコントロール」をご活用いただくことを目的として作成しています。

iPad や iPhone などをスイッチで操作される方向けに、アクセシビリティ機能、「スイッチコントロール」で利用できる操作をご紹介します。

ご使用になりたい操作の参考にさせていただきますと幸いです。

目次

スイッチインターフェイスオプション.....	2
スイッチコントロールの設定 - 自動設定(フックプラス).....	2 - 3
スイッチコントロールの設定 - 1つのスイッチで使用する場合.....	3 - 4
スイッチコントロールの設定 - 単一スイッチステップハイライト.....	5 - 6
スイッチコントロールの設定 - 2つのスイッチで使用する場合	6 - 7
スイッチコントロールの設定 - 操作性の向上.....	7 - 10

スイッチインターフェイスオプション

iPad や iPhone 等の画面を直接触って操作することが難しい方でもスイッチを使用することで操作ができます。

ブルー2

ブルー2は、PC などと無線=Bluetooth で接続し、1つまたは2つのスイッチ入力での操作ができます。

iPhone/iPad では内蔵するスイッチコントロールを使用して、白(S1)とオレンジ(S2)のスイッチで入力することができます。または、2つの外部スイッチを接続して入力することもできます。

詳細は、[ブルー2](#) を参照してください。



フックプラス

フックプラスは、有線で接続するスイッチインターフェイスです。

ライトニングコネクタを介して iPad、iPhone、iPod touch に接続します。

1個から4個のスイッチを接続して操作ができます。

詳細は、[フックプラス](#) を参照してください。



スイッチコントロールの設定 - 自動設定 (フックプラス)

フックプラスを使用する場合は、iOS の自動ハイライトを設定して使用することができます。

自動ハイライトは、フックプラスに接続された1つのスイッチを自動的に認識します。

ハイライトのスタイルは、利用するスイッチの数で決まります。

1. 設定 > アクセシビリティ > スイッチコントロール
2. スイッチコントロールをオンにしてください。(接続すると自動的にスイッチコントロールが動くこともあります)
3. 1~4個のスイッチをフックプラスに接続します。
4. フックプラスのライトニングコネクタをデバイスのライトニングジャックに差し込み、約 10 秒待ちます。

a. スイッチがスイッチジャック1に接続されている場合

- i. デバイスは、1つのスイッチの場合は自動的に認識し、自動ハイライトを開始します。
- ii. ハイライトのスタイルは自動的に自動ハイライトに設定されます。
- iii. スイッチジャック1に接続されたスイッチは「選択」と名付けられ、選択の機能が割り当てられます。
- iv. ハイライト(青い枠)またはグライドカーソル(青い線)が画面を横切って移動を開始します。

b. スイッチがスイッチジャック1と2に接続されている場合

- i. デバイスは自動的に2つのスイッチが手動ハイライト(ステップスキャン)で使用するよう設定されます。
- ii. ハイライトのスタイルは自動的に手動ハイライトに設定されます。
- iii. スイッチジャック1に接続されたスイッチは「項目を選択」と名付けられ、項目を選択の機能が割り当てられます。
- iv. スイッチジャック2に接続されたスイッチは「次へ」と名付けられ、次の項目に移動の機能が割り当てられます。

c. スイッチがスイッチジャック1、2、3または1、2、3、4に接続されている場合

- i. デバイスは自動的に2つのスイッチが手動ハイライトで使用するよう設定されます。
- ii. ハイライトのスタイルは自動的に手動ハイライトに設定されます。
- iii. スイッチジャック1に接続されたスイッチは「項目を選択」と名付けられ、項目を選択の機能が割り当てられます。
- iv. スイッチジャック2に接続されたスイッチは「次へ」と名付けられ、次の項目に移動の機能が割り当てられます。
- v. スイッチジャック3と4に接続されたスイッチは自動では設定されません。

[設定 > アクセシビリティ > スイッチコントロール > スイッチ > 新しいスイッチを追加]の順に任意の機能を設定します。

5. これでフックプラスがスイッチコントロールで使えるようになりました。

自動ハイライトの認識が完了したら、戻って機能の設定を変更することができます。

各スイッチに割り当てられた機能やハイライトのスタイルを変更することができます。

スイッチに割り当てられた機能を変更するには、デバイスの[設定 > アクセシビリティ > スイッチコントロール > スイッチ]を選択し、変更するスイッチを選択します。

ハイライトのスタイルを変更するには、[設定 > アクセシビリティ > スイッチコントロール > ハイライトのスタイル]を変更します。

スイッチコントロールの設定 - 1つのスイッチで使用する場合

1つのスイッチで使用する場合は、「自動ハイライト」を使用するようにデバイスを設定します。

画面上の自動ハイライトは、所定の間隔(タイミングで設定した時間)で自動的に移動し、ユーザーは1つのスイッチを入力して項目を選択します。

これらの手順でブルー2またはフックプラスを使用することができます。

ステップ 1: アクセシビリティ・ショートカットの設定

アクセシビリティのショートカットを使用すると、デバイスの「ホーム」ボタンをトリプルクリックすることで、スイッチコントロールを簡単にオンまたはオフにすることができます。

1. [設定 > アクセシビリティ > ショートカット]に移動します。
2. [スイッチコントロール]を選択し、✓を入れます。

ステップ 2: スイッチを接続する

ブルー2またはフックプラスと1つの外部スイッチを接続します。

接続方法については、各製品に同封されている取扱説明書を参照してください。

ステップ 3: スイッチを設定する

スイッチをデバイスに接続したら、スイッチコントロールで設定する必要があります。

1. [設定 > アクセシビリティ > スイッチコントロール > スイッチ]に移動します。
 2. [新しいスイッチを追加]を選択します。
 3. 「外部」を選択します。
 4. 接続したいスイッチをアクティベート(1度操作)します。
 - a. [競合しているスイッチがあります]というメッセージが表示される場合があります。その場合は、別のスイッチをアクティベートしてください。
- ブルー2を使用し、このメッセージが表示される場合は、モードボタンを押して、他のモードを使用してみてください。
- フックプラスを使用し、このメッセージが表示される場合は、スイッチをジャック3または4に接続してみてください。
- それでも問題が解決しない場合は、[設定 > アクセシビリティ > スイッチコントロール > スイッチ]と進み、既に設定されているスイッチをすべて削除してから再度接続し直してください。
5. スイッチに名前を付けるよう求められます。スイッチには、後で識別しやすいように名前を付けることをお勧めします(例: ブルー2モード1 白いスイッチ/フックプラス S1など)。名前を付けたら、「保存」を選択します。
 6. 「アクション」を選択します。
 7. これでスイッチが設定されました。
- 必要に応じて、「長押し」を選択して同じスイッチに2つ目のアクションを追加できます。
- 長押しを追加すると、ユーザーは所定の秒数だけスイッチを押して、2つ目のアクションを起動できます。

ステップ 4: スイッチコントロールを設定する

スイッチコントロールの中には、ユーザーの操作に役立つさまざまな設定があります。

1. [設定 > アクセシビリティ > スイッチコントロール]

2. 「ハイライトのスタイル: 自動ハイライト」を選択
3. 「タイミング > 自動ハイライトの時間」: これはハイライトがデバイスの画面上でどのくらいの速さで移動するかの設定です。ユーザーに適した秒数を設定してください。

ステップ 5: スイッチコントロールをオンにする

- 方法 1. ホームボタンまたは電源ボタンをトリプルクリックしてアクセシビリティ・ショートカットを有効にします。
- 方法 2. [設定 > アクセシビリティ > スイッチコントロール]に移動し、スイッチコントロールを「オン」にします。

スイッチコントロールの設定 - 単一スイッチステップハイライト

次の手順では、スイッチコントロールを使用して1つのスイッチで自動ハイライトを行うようにデバイスを設定します。1つのスイッチを使用してデバイスの画面上でハイライトを移動し、所定の秒数が経過した後に自動的に選択が行われます。これらの手順で、ブルー2またはフックプラスを使用することができます。

ステップ 1: アクセシビリティ・ショートカットの設定

アクセシビリティのショートカットを使用すると、デバイスの「ホーム」ボタンをトリプルクリックすることで、スイッチコントロールを簡単にオンまたはオフにすることができます。

1. [設定 > アクセシビリティ > ショートカット]に移動します。
2. [スイッチコントロール]を選択し、✓を入れます。

ステップ 2: スイッチを接続する

ブルー2またはフックプラスと1つの外部スイッチを接続します。
接続方法については、各製品に同封されている取扱説明書を参照してください。

ステップ 3: スイッチを設定する

スイッチをデバイスに接続したら、スイッチコントロールで設定する必要があります。

1. [設定 > アクセシビリティ > スイッチコントロール > スイッチ]に移動します。
2. [新しいスイッチを追加]を選択します。
3. 「外部」を選択します。
4. 接続したいスイッチをアクティベート(1度操作)します。
 - a. [競合しているスイッチがあります]というメッセージが表示される場合があります。その場合は、別のスイッチをアクティベートしてください。
ブルー2を使用し、このメッセージが表示される場合は、モードボタンを押して、他のモードを使用してみてください。
フックプラスを使用し、このメッセージが表示される場合は、スイッチをジャック3または4に接続してみてください。
それでも問題が解決しない場合は、[設定 > アクセシビリティ > スイッチコントロール > スイッチ]と進み、既に設定されているスイッチをすべて削除してから再度接続し直してください。
5. スイッチに名前を付けるよう求められます。スイッチには、後で識別しやすいように名前を付けることをお勧めします(例: ブルー2モード1 白いスイッチ/フックプラス S1など)。名前を付けたら、「保存」を選択します。
6. 「次の項目へ移動」を選択します。

7. これでスイッチが設定されました。

必要に応じて、「長押し」を選択して同じスイッチに2つ目のアクションを追加できます。

長押しを追加すると、ユーザーは所定の秒数だけスイッチを押して、2つ目のアクションを起動できます。

ステップ 4: スイッチコントロールを設定する

スイッチコントロールの中には、ユーザーの操作に役立つさまざまな設定があります。

1. [設定 > アクセシビリティ > スイッチコントロール]
2. 「ハイライトのスタイル: 単一スイッチステップハイライト」を選択
3. 「タイミング > 滞留時間」: デバイスの画面上でアイテムが自動的に選択されるまでの待ち時間です。ユーザーに適した秒数を設定します。フォーカスを移動するためには1つのスイッチが必要です。指定した時間内に何も操作を行わないと、フォーカスのある項目が自動的にアクティブになります。

ステップ 5: スイッチコントロールをオンにする

方法 1. ホームボタンまたは電源ボタンをトリプルクリックしてアクセシビリティ・ショートカットを有効にします。

方法 2. [設定 > アクセシビリティ > スイッチコントロール]に移動し、スイッチコントロールを「オン」にします。

スイッチコントロールの設定 - 2つのスイッチで使用する場合

次の手順では、スイッチコントロールを使用して2つのスイッチステップスキャンを行うようにデバイスを設定します。1つのスイッチはデバイスの画面上でスキャンを移動するために使用され、2つ目のスイッチは選択を行うために使用されます。これらの手順で、ブルー2またはフックプラスを使用することができます。

ステップ 1: アクセシビリティ・ショートカットの設定

アクセシビリティのショートカットを使用すると、デバイスの「ホーム」ボタンをトリプルクリックすることで、スイッチコントロールを簡単にオンまたはオフにすることができます。

1. [設定 > アクセシビリティ > ショートカット]に移動します。
2. [スイッチコントロール]を選択し、✓を入れます。

ステップ 2: スイッチを接続する

ブルー2またはフックプラスに2つの外部スイッチを接続します。

接続方法については、各製品に同封されている取扱説明書を参照してください。

ステップ 3: スイッチを設定する

スイッチをデバイスに接続したら、スイッチコントロールで設定する必要があります。

1. [設定 > アクセシビリティ > スイッチコントロール > スイッチ]に移動します。
2. [新しいスイッチを追加]を選択します。
3. 「外部」を選択します。
4. 接続したいスイッチをアクティベート(1度操作)します。
 - a. [競合しているスイッチがあります]というメッセージが表示される場合があります。その場合は、別のスイッチをアクティベートしてください。

ブルー2を使用し、このメッセージが表示される場合は、モードボタンを押して、他のモードを使用してみてください。
フックプラスを使用し、このメッセージが表示される場合は、スイッチをジャック3または4に接続してみてください。
それでも問題が解決しない場合は、「設定 > アクセシビリティ > スイッチコントロール > スイッチ」と進み、既に設定されているスイッチをすべて削除してから再度接続し直してください。

5. スイッチに名前を付けるよう求められます。スイッチには、後で識別しやすいように名前を付けることをお勧めします（例: ブルー2モード1白いスイッチ/フックプラス S1など）。名前を付けたら、「保存」を選択します。
6. 「次の項目へ移動」を選択します。
7. これでスイッチが設定されました。
必要に応じて、「長押し」を選択して同じスイッチに2つ目のアクションを追加できます。
長押しを追加すると、ユーザーは所定の秒数だけスイッチを押して、2つ目のアクションを起動できます。
8. ステップ1から5を繰り返します。
9. 希望するハイライトメニューの選択
10. (オプション) 長押しアクションの追加
11. これでスイッチの設定が完了しました。

ステップ 4: スイッチコントロールを設定する

スイッチコントロールの中には、ユーザーの操作に役立つさまざまな設定があります。

1. 「設定 > アクセシビリティ > スイッチコントロール」
2. 「ハイライトのスタイル: 手動ハイライト」を選択

ステップ 5: スイッチコントロールをオンにする

方法 1. ホームボタンまたは電源ボタンをトリプルクリックしてアクセシビリティ・ショートカットを有効にします。

方法 2. 「設定 > アクセシビリティ > スイッチコントロール」に移動し、スイッチコントロールを「オン」にします。

スイッチコントロールの設定 - 操作性の向上

以下のスイッチコントロールの設定は、よりユーザーの操作性を向上させます。1 つのスイッチで使用する場合は①、2 つのスイッチで使用する場合は②、単一スイッチステップハイライトは単の印に該当しています。

レシピ ①②単

レシピは記録されたジェスチャまたは一連のジェスチャで、スイッチから繰り返し起動することができます。ユーザーは、ハイライト時に表示されるポップアップメニューからレシピを起動したり、設定から手動でレシピを起動したりすることができます。レシピは、電子書籍のページをめくったり、ゲームのコントロールのような反復的な作業に最適です。レシピは、あらかじめ決められた時間が経過すると自動的にオフになるように設定したり、2つ目のスイッチが入ったときにオフにしたりすることができます。

「タイミング>自動的に非表示」②

「オン」にするとスイッチを操作していない状態で設定した時間が経過した際にハイライトインターフェイスを非表示にし

す。

「タイミング>移動の繰り返し」②

移動の繰り返しがオンの場合、次・前の項目に移動の操作を繰り返すまでの時間を設定できます。

「タイミング>最初の項目で一時停止」①

最初の項目で一時停止が「オン」になっている場合、ハイライトは指定した秒数の間、最初の項目で一時停止します。この一時停止は、ハイライトが最初に開始されたときに行われ、項目が選択されてハイライトが再開された後に再び行われます。これにより、ユーザーは、ハイライトが開始される前に、次に選択したい項目がどこにあるかを判断するために、画面を見る余裕を得ることができます。

「タイミング>繰り返し」①単

ハイライトのスタイルが「自動」「単一スイッチステップハイライト」になっていると、画面上のすべての項目をハイライトしたら、また最初から繰り返します。繰り返し数は、ハイライトがすべての項目を通過して最初から繰り返す回数です。繰り返し数が終了すると、ハイライトは停止します。スイッチを押すと、ハイライトが再び開始されます。

「タイミング>長押し」①②単

スイッチに長押しを追加した場合、長押しを起動するためにスイッチを起動する秒数を設定する方法です。長押しを起動したときにハイライトを一時停止する設定もあります。

「タイミング>タップの動作」①②単

タップの動作は、ハイライト時にユーザーがスイッチを操作したときに何が起こるかを決定します。

- ＞ デフォルト:ユーザーがハイライト中に選択アクションを実行すると、ポップアップメニューが表示されます。このポップアップメニューの中で、ユーザーは選択したアイテムをどのように操作するかを選択肢が表示されます。
- ＞ 自動タップ:選択アクションを実行すると、画面が自動的にタップされます(選択を2回押すとポップアップメニューが表示されます)。
- ＞ 常にタップ:選択アクションを実行したときにポップアップメニューが表示されるのではなく、フォーカスがある項目がただちに選択されます。ポップアップメニューを表示できるように、ハイライトサイクルの最後にメニューアイコンが表示されます。常にタップは項目モードのみに適用されます。グライドカーソルおよびヘッドトラッキングでは、動作はデフォルトに戻ります。

※ヘッドトラッキングとは、iPad Pro(第3世代)や iPhone X シリーズや iPhone 11 シリーズの内蔵カメラで頭(顔)の動きを検知して、その動きに合わせてマウスカーソルを移動させるという機能です。

「キーボード>タップ後に同じキーをスキャン」①②単

スキャンして入力するときに、この設定をすると、スキャンして同じ文字を再度選択できるようになります。

「キーボード > 拡張予測変換」①②単

この設定は、ユーザーの予測変換に候補を表示します。

「スイッチ安定化 > 保持継続時間」①②単

保持継続時間を「オン」にすると、スイッチを指定秒数以上押し続けた場合に入力をします。これは、ユーザーがスキャン中に誤ったタイミングでのスイッチ操作を防ぎます。また、この設定は、長時間スイッチを押し続けた場合に、複数の選択肢が連続してアクティブになることを防ぎます。スイッチのダブルクリックを認識するためには、保持継続時間は自動タップ設定よりも短い秒数を指定してください。

「スイッチ安定化 > 繰り返しを無視」 ①②単

繰り返しを無視を「オン」にすると、指定秒数の間はスイッチを複数回押ししても1回の入力をします。これは、ユーザーがスキャン中に誤って複数回スイッチを起動してしまうことを防ぎます。スイッチのダブルクリックを認識するためには、繰り返しを無視の時間が自動タップ設定よりも短い秒数を指定してください。

「ポイントハイライト > グライドカーソル」 ①②単

スイッチコントロールを使用しているときに、画面上のホットスポットを認識しない場合があり、グライドカーソル(ポイントモードスキャン)を開始することがあります。グライドカーソルでは、画面上に線が移動します。線は最初に左から右に移動し、次に、上から下に移動します。グライドカーソルで、ユーザーは画面上の特定の場所を選択することができます。ユーザーが利用できる選択モードは3つあります。

> 「シングル」では、ユーザーは垂直方向に1回、水平方向に1回選択します。

> 「微調整」では、ユーザーは垂直方向に2回、水平方向に2回選択します。2回目は選択したい場所をさらに絞り込むために微調整できます。

> 「正確」では、さらに低速ハイライトが追加され、非常に正確に選択できます。

「ポイントハイライト > グライドカーソル > グライドカーソルの速度」 ①②単

グライドカーソルの速度は、このハイライト(線)が画面上を移動する速度です。数値が高いほど、画面上を移動する速度が速くなります。

「オーディオ > 効果音」 ①②単

効果音を「オン」にすると、画面上のアイテム間をハイライトする際にクリック音が鳴るようになります。これは、聴覚的な合図を必要とする場合に有用です。

「オーディオ > 読み上げ」 ①②単

読み上げが「オン」になっている場合、ハイライトが項目を照らすと、その項目が何であるかを読み上げます。これは、聴覚的な合図を必要とするユーザーや視覚障害のあるユーザーに便利です。一部の項目は読み取れない場合があります。

「メニュー項目」 ①②単

ハイライト中にポップアップメニューに表示される項目を制限することができます。

「項目をグループ化」 ①②単

ユーザーが迅速にハイライトできるようにするために、グループ化はデフォルトで「オン」になっています。この時、ハイライトは画面上のアイテムをグループに分けます。ユーザーは、グループからグループへ移動して、グループを選択し、そのグループ内のアイテムを選択することができます。これは、他のプログラムで使用される従来の行/列ハイライトに似て

います。「項目をグループ化」を「オフ」にすると、画面上の項目を個別にハイライトします。

「ビジュアル>大きいカーソルを使用」 ①②単

大きいカーソルを「オン」にすると、ハイライトで使用する境界線（枠線）のサイズが大きくなります。これにより、画面を横切るハイライトを追うのがよりわかりやすくなります。

「ビジュアル>カーソルの色」 ①②単

ハイライトの境界線の色を変更して、移動するときに画面上で見やすくすることができます。デフォルトでは「ブルー」ですが、「レッド/グリーン/イエロー/オレンジ」から選べます。

「保存済みのジェスチャ」 ①②単

ページめくりのスイープのようなカスタムジェスチャを作成して保存し、スキャン中にポップアップメニューからアクセスすることができます。

Apple、iPad、iPhone、iPod touch は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。

iOS は、Cisco 社の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。更新日:2020年9月15日 3:43 PM